

アカガイ属二枚貝の増養殖に向けた基礎調査

実施機関：栽培水産試験場

協力機関：上磯郡漁業協同組合、北斗市、鷗川漁業協同組合

研究の背景・目的

- ・気候変動・海水温の上昇に伴い、これに対応した新たな増養殖対象種の探索や技術開発が求められている。
- ・近年鷗川などでアカガイが混獲される事がある。
- ・国産アカガイは国産は3,000円/kg前後で取引され、すしネタなど高級食材として取り扱われている。
- ・アカガイは山口県栽培漁業公社における人工種苗生産や、青森県における養殖の事例がある。
- ・サルボウガイはアカガイの代替品とされているが有明等で養殖がおこなわれている。



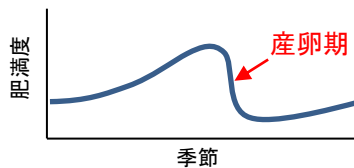
研究内容

①親貝探索

アカガイ、サルボウガイもしくはクイチガイサルボウを探索し、入手できた場合は親貝として利用できるか確認する。

①情報収集：親貝の生息情報収集、採取状況の集計、鷗川や上磯などでの漁獲物調査

②産卵時期推定：産卵誘発、肥満度測定



②種苗生産方法の検討

種苗放流及び養殖を行うための、本道産親貝を用いた種苗生産の検討を行う

①産卵誘発試験：誘発温度、誘発処理



水温変化



干出

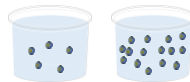


②幼生飼育試験：飼育水温、飼育密度

水温



密度

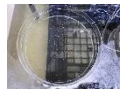


③稚貝飼育試験：着底期幼生の着底水槽、着底基質条件、稚貝飼育密度

パンライト水槽



ダウンウェリング槽



期待される成果

- ・北海道におけるアカガイ属貝類の生物特性が明らかとなる。
- ・種苗生産を行う上で基礎となる飼育条件を決めることができる。

研究成果の活用

- ・上磯郡漁協等要望のある種苗生産施設へ指導を行う。
- ・種苗生産技術は放流用種苗の生産にも活用できる。